

[Japanese Ver.]

2014

The third quarter

Beautiful SIHEUNG



編集人便り

始興市民43万人が安らげる「市民の家、始興」

「植生の宿もわが宿 玉のよそい うらやまじ」

聞き慣れた歌「植生の宿(原題:Home Sweet Home)」の一節です。この歌を口ずさんでいると家のぬくもりと安らかさが感じられ、自分まで楽しくなって自然と口元がほころんできます。家は単なる物理的な空間である以上に、心理的な安定感をもたらす場所です。愛、保護、安定感といったものへの本能的な欲求がすべて満たされる空間だからです。それで私たちは家で家族を愛し、保護されながら安定感と所属感、幸福感を味わいます。それでは、「都市」は家のようにしっかりした垣根になれないでしょうか？

民選6期の始興市が始興市民43万人にとって安らげる「市民の家」になります。

「私」ではなく「共同体」が息づく都市

共同体の回復は「生命都市」の中核であり、未来100年の基礎を固める重要なことです。市はこれまで、「希望のまちづくり」、「図書館希望の種」、「始興市民円卓会議」などによってコミュニケーションを取り、和合する共同体文化を築いてきました。民選6期にも、市民を信じて主人として待遇し、生きた共同体の都市にしていくための事業を推進します。独占する人も疎外される人もいない、人情と愛があふれる都市を築きます。

安全システムを完備した都市

市はセウォル号沈没事故のような惨事が起こった胸痛む春を忘れることなく、先制的な対応で事故のない安全な都市を築くため、様々な計画を立てています。災害対策都市安全システムを再整備・強化し、先進国型防犯環境設計(CPTED)を積極的に拡大して犯罪を減らしていきます。また、学校周辺や路地といった犯罪が起りやすい地域への防犯カメラ設置を拡充し、官民合同安全点検団を常時運営するなど、市民の保護を最優先します。

衣食住の心配がない都市

安定感は福祉から始まり、最高の福祉は継続的に働ける良い仕事があることに他なりません。市は退職者のためのカスタマイズ公共雇用創出、青年失業の解消と創業支援のための青年ベンチャータウン建設、出産や育児などでキャリアに空白がある女性のための支援を大幅に強化する計画です。また、始興スマートハブ入居企業向けに地域人材優先採用制度を設け、文化コンテンツ産業振興センターの建設によって文化観光分野の雇用を創出するなど、官民学協力ネットワークによるカスタマイズ雇用創出を実現します。

都市も家と同様、誰にでも希望と幸せの空間になれます。7月1日にスタートした民選6期始興市が市民のための希望と幸せの空間、始興市民43万人の家になります。

市民の皆様、始興の今後100年の力強い躍進を一緒に目指しましょう。

編集人便り

市民を「主人」にする「コミュニケーション」の力！ 市民コミュニケーション担当官室がお見せします。

公共機関に「コミュニケーション」という言葉が流行のように広がっています。しかし、「公務員のすることはもどかしい」、「市民はいつも不満だらけ」といった気持ちをお互いに抱いているとしたら、コミュニケーションは成り立ちません。「傾聴、共感、信頼」が積み重なったとき、初めてコミュニケーションが可能になります。

始興市も従来の公報政策担当官室の機能を調整し、民選6期に入って新しく市民コミュニケーション担当官室を設置しました。編集人は「市民コミュニケーション担当官」として、口先だけのコミュニケーションではなく、市民が体感できるコミュニケーションとは何かを考えながら職員と業務の方向性を定めています。

これまでの「公報」業務は、「コミュニケーション」の基本である双方向的なやり取りというよりは、一方的なメッセージの伝達にとどまっていた。難しい用語を使った発信者中心のわかりにくいメッセージを、そのまま一方的に伝えてきたのです。これは当然、市民の無関心につながりました。市民とのコミュニケーションの重要性は知りつつも、積極的に解決策を探して改善できなかったことについて申し訳なく思います。

「市民コミュニケーション担当官室」はこのような反省と改善への意志を込め、市民の皆様に先に尋ね、皆様の声を傾聴する機能を強化することにしました。市政府はこれまで、コミュニケーションの前提条件である「先に聞いてみる」がなかなか実践できませんでした。目線を合わせずに自分の気持ちだけ押し付ける独りよがりの片思いのようです。ですから、これからは市民43万人を恋人にするつもりで、皆様の声に耳を傾け、目線を合わせて優しさと思いやりに根ざした双方向のコミュニケーションを実践します。

市民の皆様、市の情報誌「ビューティフル始興」をはじめホームページ、始興放送、メディア始興、SNSなど、始興市には様々なコミュニケーションの窓口があることをご存じでしたか？様々な媒体の主人は誰でしょうか？まさに皆様です。しかし、残念ながらこれまで、市民の参加率は非常に低調でした。

ところが、4月のセウォル号沈没事故当時、様々な媒体を通じて皆が痛みを共にし、お互いにいたわり合う姿が見られました。珍島の彭木港に駆けつけて事故現場の状況を見て回り、故・パク・チョンさんのお母さんや行方不明高校生の家族に会って交わした話、檀園高校の雰囲気、市民が感じた痛みなどをSNSでリアルタイムにお伝えし、ビューティフル始興、始興放送、メディア始興でも深く取り上げました。また、市民の皆様にお寄せいただいたたくさんコメントを見ながら感じました。市が市民の立場になって一度でも考えるなら、本当の「コミュニケーション」が可能になるのだと。

易地思之(相手の身になって考えること)を肝に銘じ、今後は市民43万人の目線で考えてたくさん聞き、市民の望むことが実現できるようにお力添えします。市の立場だけを一方的に伝えて守りの姿勢を取るよりは、究極的に市民を代弁する公益的な役割を果たすという使命感を持って努力します。始興市民の皆様。始興市を信じて皆様のお話を聞かせてください。真心からコミュニケーションに臨みます。

3選を果たした金允植始興市長

「市長ではなく市民の目線で市のあちこちを訪ねます」

全国に数多くいる地方自治体長のうち、3選を果たした人の数は指で数えられる程度。彼らには共通点がある。住民とのコミュニケーションに多くの努力を注ぐという点である。3選を果たした金允植(キム・ユンシク)始興市長は、今後4年間の任期においても、住民とのコミュニケーションに多くの力を注ぐとみられる。市長ではなく市民の目線で市のあちこちを訪ねるという金允植市長にインタビューした。



金允植市長にとって3選の意味とは？

「これまでに積み上げてきた成果を継続できるのでうれしい反面、重い責任も感じる。今後の4年間は始興の多くのことを決定づける重要な時期だと思う。あらゆる手を尽くして始興が良い都市になるように努力する」

民選6期を導く市政哲学は？

「民選6期は市民の立場で考え、市政の答えを市民から得る。民選5期のときは案件について討論し、細かいところまで注意を払う実務型リーダーシップを追求した。民選6期は市のあちこちを訪ねる予定。小さな工場、露天商、古物商など、市民の生活現場を休みなく

訪ねながら市民の痛みと向き合い、彼らの気持ちを聞いて同じ目線で話す決意した。市長が市民の中に入り込み、徹底的に市民の立場になって暮らすとき、初めて公務員の組織も変わっていくだろう。今後は組織の変化と市民との積極的なコミュニケーションのため、市のあちこちを直接訪ねて回る。

民選6期に最も力を注ぎたいことは？

「始興にはまだやるべきことがたくさん残っている。電鉄事業も急がれるほか、生命都市にふさわしく生態資源を保存しながら経済的価値も高めなければならない。市民の安定的な経済活動を可能にするのが自治体長の役目の一つだと思う。良い働き口も増やしていく。また、ソウル大学始興キャンパスが順調に定着できるように力を尽くす。今までも始興は多くの規制の中で急成長を遂げてきたが、さらに拍車をかけて充実・安定した始興にしていく」

教育都市に生まれ変わろうと努力している理由は？

「人を育てることほど重要なことはない。一つ

の地域社会を短期間で変化させられる力は「教育」と「学校」にあると思う。教育が優れていれば地域経済や雇用問題も解決できる。都市開発においても学校を重視すべき。学校は地域の開発と革新を導く原動力。ソウル大学始興キャンパスの誘致もそのような脈絡で理解してもらえればと思う。ソウル大学始興キャンパスは単なるソウル大生の学習空間ではなく、始興市民にとっても学習、文化、医療、憩いの空間になるだろう」

市政を展開しながらストレスを受けるときもあると思うが、その解消法は？また、暑さをしのぐ秘訣は？

市政を運営するのに悩みやストレスがないはずがない。しかし、うまく解決するとストレスや疲れがサッと吹き飛ぶ。だからどんなことであれ、終わった後の達成感と良い方向への変化、市民の満足を思いながらストレスを受け入れる。暑さも同じ。暑さをしのぐために何とかしようとせず、その暑さを受け入れるのも一つの方法だと思う。

第6回全国同時地方選挙当選者

始興市民の願いに応える

市民の声援を胸深く刻んだ16人の議員に会った。

市民にとってより幸せな始興にしていこうとする彼らの抱負を聞いてみよう。



任炳沢(イム・ビョンテク)京畿道議会議員
始興市第1選挙区(大也洞、新川洞、銀杏洞、果林洞)

「温かいまち始興を実現」

地方議員は市民の隣人であり、友です。平凡な市民の平凡な幸せをお守りしたいと思います。お互いを思いやり、分かち合いながら暮らす、始興をそのような全国で一番温かいまちにします。



金振鏡(キム・ジンギョン)京畿道議会議員
始興市第2選挙区(新峴洞、梅花洞、牧甘洞、蓮城洞、陵谷洞、長谷洞)

「始興を安全なまちに」

始興を子どもたちが明るく笑い、お母さんが安心できる安全なまちにします。素砂・元時線が完工すれば循環コミュニティバスを新設して運営し、ケッコル生態公園を京畿道の生態観光地に引き上げます。



崔在白(チェ・ジェベク)京畿道議会議員
始興市第3選挙区(君子洞、正往本洞、正往1洞、月串洞)

「始興の交通を解決」

始興の交通問題を解決し、始興の価値を高める月串-板橋線電鉄の定着に向けて力を尽くします。



李相喜(イ・サンヒ)京畿道議会議員
始興市第4選挙区(正往2洞、正往3洞、正往4洞)

「始興の教育に注力」

始興市民の皆様、ありがとうございます。皆様にご支持、ご声援をいただいたおかげで道議会議員再選を果たすことができました。今後4年間、始興の教育のために最善を尽くします。